



心をつないで Heart to Heart



第 1 号

March 26, 2011

「Heart to Heart」(心をつないで)は GE ヘルスケア・ジャパン(株)の復興支援活動をお伝えするニュースレターです。

このたびの東北地方太平洋沖地震で被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を社員一同、お祈り申し上げます。

私たち GE ヘルスケア・ジャパンは、医療に携わる企業として、1 つでも多くのいのちが救われ、一刻も早く被災地の復興がなされるよう、当社製品の安定稼働を心がけるとともに、被災地で当社製品をお使いの医療機関と患者の皆様のために最善の努力をしております。

そんな当社の想いを少しでも多くの方にお伝えしたく、このほどニュースレター「Heart to Heart」(心をつないで)を発行することにいたしました。本ニュースレターを通じて、被災地の支援に向けた当社および GE グループの取り組みについて、随時お伝えしてまいります。

「Heart to Heart」が、被災された皆様、被災地の支援に携われる方々と当社との心をつなぐ懸け橋となることを心から祈念しています。

GE グループの主要支援活動

GE および GE グループ各社は、GE の社会貢献活動団体である GE ファンデーションを通じて、被災者の方々の救援や被災地の復興に役立てていただくために、今後数カ月間にわたって合計 500 万米ドル相当(約 4 億 1000 万円)の支援を提供します。義援金、発電・水・医療関係等の機器および運用保守サポートなど、政府や被災地の自治体、医療機関、支援団体と連携して、被災地の要望に最大限応えていきます。これまでに決定した支援策は以下の通りです。

- 日本赤十字社への 1 億円(約 125 万米ドル)の現金寄付
- 宮城県への 1 億円(約 125 万米ドル)の現金寄付
- ポケットサイズの超音波診断装置「Vscan (ヴィースキャン)」やノートパソコン型の超音波診断装置「LOGIQ e (ロジック・イー)」をはじめとするヘルスケア関連製品の寄贈
- 被災者捜索および目視検査に貢献する工業用の内視鏡の寄贈

また、この 500 万米ドルに加えて、世界 36 カ国の GE 社員から、この地震の救援活動団体に対して、約 5,160 万円(63 万 7,000 米ドル)の寄付が集まりました(3 月 23 日現在)。GE ファンデーションのマッチング・ギフト(社員の寄付金と同額を会社が拠出する仕組み)による同額の上乗せで、寄付金は合計で約 1 億 320 万円(127 万米ドル)を上回る額となっています。



左) Vscan



右) LOGIQ e

次号以降、被災者の方々の医療支援に活躍する当社の医療機器について、順次ご紹介します。

Inside Story

日野工場が震災後 5 日目に操業再開

当社では地震発生直後の 11 日(金)に、日野本社にて社長を本部長とする危機管理対策本部を立ち上げ、被災地周辺の状況把握、ならびに社員や社員の家族の安否確認をいち早く開始しました。今回の大震災の影響で、当社の東北支社(宮城県仙台市)の建屋は半壊状態になり、CT や超音波診断装置のプロープ(探触子)を製造する日野工場(東京都日野市)も安全確認のため、一時操業停止を余儀なくされました。

しかしながら、国内をはじめ全世界の関係者、ならびに各 GE グループ会社からの迅速な支援もあり、日野工場は震災発生から 5 日後の 16 日(水)には安全確認を完了し、全面的な操業を再開しました。現在は計画停電の影響も受けながらも、これまで同様『命を救う製品』を全世界の医療機関ならびに患者さんのもとに迅速にお届けしています。

一方、未曾有の大災害に見舞われた現地でも、一日も早い復旧とお客様サポート再開を目指し、近隣の営業拠点、本社などが一丸となって被災地の支援に取り組んできました。サービス担当者は被災 2 日後の 13 日(日)から、患者の救命に奔走されている医療機関の支援、サポートに全力を注いでいます。

輸送網の状況などから、依然として一部地区でサービス体制の制限、ならびに部品到着の遅延が発生していますが、当社では GE の「ヘルシーマジネーション(healthymagination)*1」戦略にもとづき、「より身近で質の高い医療をより多くの人に」届けることを目指して、今後も全社一丸となって最大限の努力を続けていきます。



一致団結して操業再開を迎えた日野工場で働くスタッフ

*1: ヘルシーマジネーション(healthymagination)は、世界が直面する深刻な医療問題の真の解決を目指して、2009 年 5 月に GE が策定したヘルスケアに関する戦略。イノベーションで環境課題の克服を図る「エコマジネーション」(2005 年 5 月導入)に続く中核戦略で、2015 年までに 60 億ドルを投じて、地域に適した技術開発、ヘルスケア IT の加速、格差のない医療の提供、在宅医療の推進の 4 分野で、100 種類のイノベーションを実施し、15%の医療コストの削減、15%の医療アクセスの拡大、ならびに 15%の医療の質向上を実現することを目指しています。詳細は www.healthymagination.com をご参照ください。

- 汎用超音波画像診断装置 Vscan 医療機器認証番号: 221ABBZX00252000
- 汎用超音波画像診断装置 LOGIQ e 医療機器認証番号: 218ABBZX00060000

本件に関するお問い合わせは以下までお願いします。

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 広報・松井亜起 Tel: 042-585-9249 Mail: aki.matsui@ge.com